

Ⅲ. 環境問題

1. 使用環境条件の問題

ミキサーシステムは、ペーパーライザの2次側の大気室（以下、大気室）と外気が通路で連通しています。2次ダイヤフラムは負荷と連動して動きますので、この大気室の容積は変動します。即ち、この通路が呼吸口となっています。

ご使用时、砂塵が舞っている様な劣悪な雰囲気でも長期間使用されますと、この通路から砂塵が流入し大気室に堆積してしまいます。（写真参照）

本事例の様に多量の砂塵が堆積してしまいますと、2次ダイヤフラムの作動が阻害され、空燃比が変動してエンジン回転が不安定となり、エンストしてしまいます。

エアークリーナーが短期で汚れたり詰まってしまう様な環境条件でご使用される場合は、ペーパーライザの点検をお願いします。なお、噴射システムはこのような問題は発生しません。



2. 内部腐食の問題

外観及び温水配管は腐食していませんが、燃料通路と1次室内が腐食していた事例です。燃料由来で腐食したとかは考えられませんが、LPガスは水分を含め有害物質の含有量が決められています。

従って、この腐食はペーパーライザだけでは原因の特定は難しく、判断が出来なかった事例です。

なお、弊社のレポートは、このような燃料由来と思われるユーザー様の問題につきましてもお知らせしております。

